

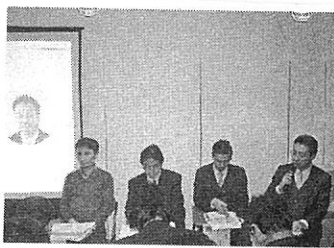
本社開設記念 **まちづくりシンポ開催**

ビジョン、枠組みなど議論

オリエンタル群馬

オリエンタルコンサルタントの子会社のオリエンタル群馬は、群馬県前橋市の中心市街地にあるシェアフラット・馬場川に本社を開設したことを記念し、6日に同所でまちづくりシンポジウム「これからのまちづくりを考える～未来を地域とともに～」を開催した。写真。

コーディネーターに大宮登高崎経済大学地域政策学部教授、パネリストには、住友文彦アーツ前橋館長、大橋慶人前橋中心商店街協同組合副理事



長、岡正己（まえばし）CIETYエフエムプロデューサーを迎え、中埜智親（ちの）オリエンタル群馬代表取締役もパネリストとして参加した。

同シンポジウムでは、冒頭、山本龍前橋市長からのビデオメッセージが流され、続いて、前橋市のまちづくりに造詣が深いパネリストからの話題提供などが行われ、これからの前

橋市におけるまちづくりのビジョンや枠組みなどを議論した。この中で中埜オリエンタル群馬代表取締役は、人や情報などを上手く組み合わせる仕組みなどを基にして、「まちに新たな価値を創出したい」と述べた。

議論の模様は、JR前橋駅待合室など6か所のサテライト会場や、まえばしCIETYエフエムのラジオ生放送等で同時配信された。

オリエンタル群馬は、本社開設およびシンポジウム開催を機会に、まちづくりをプロデュースする企業として、前橋市をはじめ県内の貴重な資源である「人」「物」「情報」「活動」を有機的に結び、まちづくり・地域づくりに貢献していく。